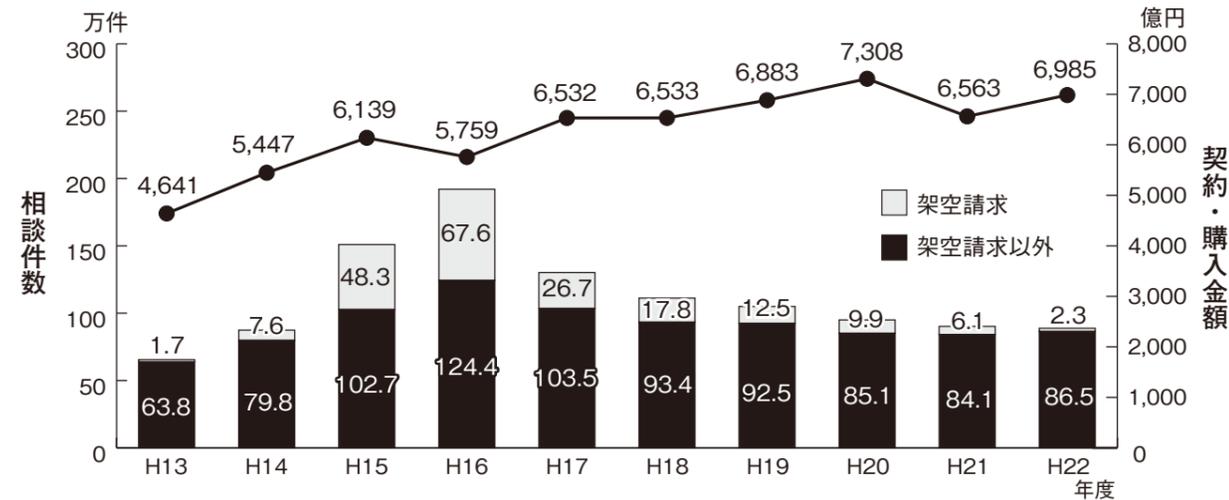
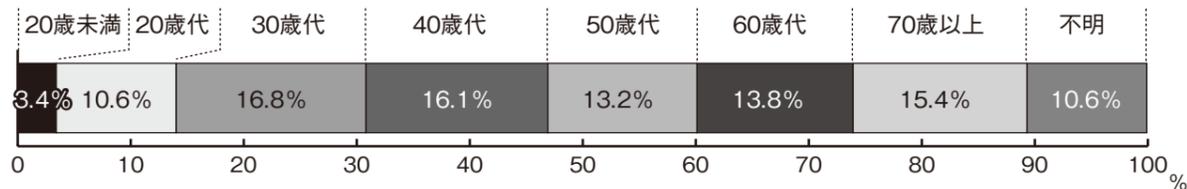


◆グラフ1 消費生活相談件数と相談における契約・購入金額の合計額の推移

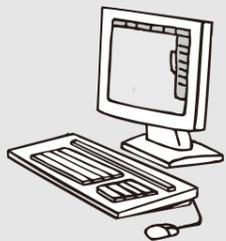


◆グラフ2 平成22年度における契約当事者の年代別割合



全国消費生活情報ネットワーク・システム (通称=PIO-NET)って何?

独立行政法人・国民生活センターが、行政機関による消費者被害の未然防止・拡大防止などを目的に運営しているデータベースです。全国の消費生活センターや、消費生活に関する苦情・相談を受け付ける窓口寄せられた内容が記録されており、市消費生活センターに寄せられた情報も同システムに登録されています。なお、詳しいデータは同センターのホームページ (<http://www.kokusen.go.jp/pionet/index.html>) でご覧いただけます。



消費生活問題を取り巻く現状はどうなっていますか?
岩崎相談員 まず、グラフ1をご覧ください。これは、全国消費生活情報ネットワーク・システム (通称PIO-NET) に登録された消費生活相談件数と、相談における契約・購入金額の合計額の推移です。架空請求が問題となった平成16年度以降、相談の総件数は減少していますが、平成22年度は架空請求以外の相談が初めて増加に転じているという状況です。また、同年度の相談における契約・購入金額の合計額は、約6,985億円のままであります。

次に、グラフ2は平成22年度における契約当事者の年代別割合です。同年度においては、30歳代が16・8%で最多、次いで40歳代となつています。しかしながら、この年代の割合は毎年減少傾向にあります。一方、70歳以上の高齢者の割合は年々増加しており、高齢者が標的にされるケースが増えていると考えられます。

不審な
メールが...

皆さんは、商品やサービスの購入に関して悪質な勧誘にあたり、パソコンや携帯電話のメールに身に覚えのない料金請求が送られてきたりして、お困りではありませんか。また、これらの困り事をどこに、そして誰に相談したらいいかわからずに、お悩みではありませんか。

市では、このような不安を抱えている人たちからの相談をお受けする「天草市消費生活センター」を、中央新町の天草宝島国際交流会館ポルト内に開設しています。同センターには、専門の相談員を配置し、問題解決に向けての助言・支援を行っています。

そこで今号では、同センターの岩崎一郎相談員、松本浜子相談員、濱里美相談員に、消費生活問題を取り巻く現状のほか、被害にあわないための心構えなどについて話を聞きました。

ひとり暮らしで
断れず...

ひとり暮らしで悩まなうで相談を!

割りのいい
投資話が...



相談電話

32 6677

月～金曜日 (祝日・年末年始を除く) の午前9時から午後3時まで